

講習の名称	【選択】漢文教材の指導法
講習の概要	<p>代表的な漢文教材を取り上げ、必修句法の指導と主体的な学習活動とを両立させるためのアクティブラーニング指導に関する理論と実践を講習します。</p> <p>使用するテキスト・関連資料は、講師が準備して当日配布いたします。</p> <p>また、講習時間内に幾つかのワークを行います。普段、ご使用なさっている漢和辞典を、必ずご持参ください。</p>
担当講師	三上 英司（地域教育文化学部主担当教授）
講習開設日	令和3年8月21日（土）
時間数	8:50～16:10（6時間）
開催地	山形県山形市
会場・教室	<p>小白川キャンパス</p> <p>A1（基盤教育1）1階 111教室</p>
対象職種	教諭
主な受講対象者	中学校教諭（国語）・高等学校教諭（国語）
受講予定人数	9人
受講者への連絡事項 （持ち物等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢和辞典（普段使用しているもの）</li> <li>・筆記具</li> </ul>
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『論語』を教材とする単元構想</li> <li>・「唐詩」を教材とする単元構想</li> </ul> <p>上記2つの単元構想を90分で作成する。</p>
評価の観点	育成を目指す資質・能力と学習活動との対応が果たされているか。
その他特記事項	